

奉仕活動を支え、助け合い 次につなげるクラブ活動



ロータリーは
世界をつなぐ

ROTARY
CONNECTS
THE WORLD

2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ

国際ロータリー第2640地区

和歌山東ロータリークラブ

URL:http://www.werc.jp E-mail:info@werc.jp

会長報告

赤井 雅哉 会長



みなさん、こんにちは。

本日の卓話には、「紀州徳川家の「教育の思想」として和歌山信愛大学 木本毅様において頂いております。

和歌山に住んでいても紀州徳川家についてはあまり知る機会がないので今日は楽しみにしています。

ところで、来週は札幌での移動例会になっておりますが、いまのところ行く予定でいます。宜しくお

願います。(中止になりました。)

報告は以上です。

幹事報告

奥村 申二 副幹事



- 2640地区より「米山記念奨学生世話クラブの決定」が届いております。…………… 回覧
- (社)日本ライトハウスより会報が届いております。…………… 回覧



在籍表彰

寺下 浩彰さん 在籍35年

おめでとうございます

卓話「近世紀州の学問の成立—紀州徳川家と藩校教育の思想と歩み—」和歌山信愛大学教授 木本 毅さん



紀州徳川家の誕生

1609年徳川家康は十男頼宜を駿府に配するが、家康の没後、二代將軍秀忠(家康公三男)は、1619年、頼宜を駿府城から西国の要である紀州藩55万石に転封した。紀州徳川家の誕生である。家康の寵愛と薫陶を一身に受けてきた頼宜は学問を好み、とりわけ儒学・朱子学に造詣が深かった。

学者を登用している。1713年、湊御用屋敷に「講釈所」という紀州藩初の「学問所」を設立した。そして、朱子学の祇園南海と古義学の蔭山東門を長に任じ、家臣だけでなく好学の庶民にまで門戸を広げ、紀州の学問は、隆盛を極めた。

吉宗の「講釈所」は、藩士教育のみならず好学の庶民にも開放されたことは、諸藩の藩校の多くが家臣及びその子弟を対象としていたこの時代、まさに画期的なことであった。

紀州藩のこうした学問の盛況ぶりには、目を見張るものがあり、当代随一の朱子学者室鳩巢は、「紀州の学問は諸国随一である」と評している。

五代藩主吉宗の教育

頼宜の孫で五代藩主吉宗(八代將軍 1684-1751)も学問好きで儒学・朱子学に造詣深く、多くの儒学者・朱子

[時代的背景]

1804年 世界で初めて麻酔による外科手術に成功した医聖華岡青洲も自分の私塾春林軒で教えるとともに医学館でも教鞭をとるなど、紀州の医学は、非常に高いレベルにあった。

この青洲の偉業に学びたいと、医療私塾「春林軒」(那賀町)と「合水堂」(大阪淀屋橋)に、2,000名を越す医師が門を叩いた。文字通り、紀州の医学は、世界の外科医学のトップに君臨するものであった。

1869年(明治2年)維新の藩政改革で新設となった学習館知事には、浜口梧陵が着任した。梧陵は、学習課程を定め、学則を改訂し士族以外の庶民も入学を認めた。

1870年、藩の洋学所として「共立学舎」が設立され、蘭英文法、地理、物理、化学、歴史等、高度な洋学教育が行われたが、翌年には廃校となった。

この時期の紀州藩は、藩の費用で、梧陵と交流の深かった福沢諭吉の慶応義塾に多くの学生を入学させ人材育成に努めた。この学校には、地元の東京を除くと紀州からの入学者が最も多く、小泉信吉(後世慶応義塾長)、菅沼政経(和歌山師範学校長)、鎌田栄吉(慶応義塾長・文部大臣)、松島剛(地理学者)等多くの人材が輩出している。(「和

歌山県史」近現代資料)

江戸期における紀州の学問は、藩祖徳川頼宣公以来十四代藩主茂承まで、綿々と引き継がれていくことになる。学問の中心は、儒学・朱子学を中心に律令学や国学そして医学であるが、やがて、開国という時代的要請から、兵学、武道、さらには蘭学、英学、自然科学、人文科学の洋学等、多岐分野にわたるものであった。

藩校教育は、基本的には、諸藩と同様、藩士のための教育機関であるが、紀州においては、好学の庶民一般にも道が開かれていたことは、誠に開明的で進歩的ですからある。それは、ひとえに紀州藩主の学問的知見と見識によるものである。戦乱・下克上の時代が終わり、徳川幕府(1603-1867)の時代を迎えると、武断政治から文治政治への移行と封建社会制度を支える「儒学・朱子学」の哲学および倫理的バックボーンが求められるという社会的・時代的にニーズを認めつつ、「儒教」の人間としての在り方・生き方、学問の意義・あり方を問う哲学的価値観が教育の礎となったことは、歴史の必然である。それを歴代紀州徳川家が綿々と引き継いできたことには、大きな教育的価値観が認められる。

♡ にこにこ箱

ありがとうございました

寺下 浩彰さん あっという間の35年、今後共宜しく願います。
 笹島 良雄さん 傘寿のお祝いを賜り感謝しています。欠席して申し訳ありませんでした。
 赤井 雅哉さん 木本先生本日はよろしく願います。
 奥村 申二さん 本日幹事代理させていただきます。よろしく願います。
 加納 研次さん 木本様、本日卓話よろしく願います。

本日の累計…16,000円(計5名5件) [お誕生日お祝い…365,000円 皆出席表彰…25,000円 その他…1,009,460円 累計…1,399,460円]

● 本日の例会

4月2日(木)

■「I.M.とクラブ例会の今後について」 赤井 雅哉 会長

■ピアノ演奏

中井 利枝さん

追憶(Marvin Humlich)
朝日の当る家(American Folk Song)

● 前回の例会

2月27日(木)

■卓話「紀州徳川家と藩校教育の思想と歩み」

和歌山信愛大学 教授 木本 毅さん

■ロータリーソング

島 公造 ソング委員長

「和歌山市市歌」
「いざ友よ」

● 次回の例会

4月9日(木)

■クラブフォーラム「雑誌・中村文庫」

● メーキャップ

(敬称略)

2月12日(水) 和歌山西R.C. 古屋 光英
 2月17日(月) 和歌山北R.C. 古屋 光英、山本 進三
 2月19日(水) 和歌山東南R.C. 古屋 光英
 2月21日(金) 和歌山南R.C. 堀岡 忠男

出席報告

会員数 43名(内出席規定適用免除会員8名)

島 公造 出席委員長

2月27日(本日)

22名/38名

57.9%

皆さん、出席してください。

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 創立/1959年2月23日

例会場/ダイワロイネットホテル和歌山 〒640-8156 和歌山市七番丁26-1 TEL (073)435-3333・FAX (073)423-0057

事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6三番丁ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845

会報・広報・IT委員会/西岡 崇 吉増 亨 玉置 博康 乾 敦雄

例会日 木曜日 12時30分